

今年も新緑楽しんで

愛岐 トンネル群 GWに一般公開

明治の赤れんが建築が残る愛知県春日井市一多治見市間の旧国鉄中央線廃線跡「愛岐トンネル群」が、今年も二十六日～五月一日の六日間、一般公開される。地元のNPO法人が遊歩道を整備して三年前から春と秋に公開を続け、鉄道ファンや新緑ハイキングの観光客ら一万人規模を全国から集める人気イベントに成長した。雨天中止、見学料百円（保険料含む）。

名古屋―多治見間で一九〇〇(明治三十二)

年に造られた路線が六年の複線化で廃止された後、木々に埋もれ、忘れ去られていた。再発見して整備に取り組む「愛岐トンネル群保存再生委員会」によると、現存するトンネルは春日井市側に六基、多治見市側に七基の計十三基が八キにわたってある。国内最大とされてきた群馬県・碓氷峠のトンネル群(国重要文化財)より二基多い。周囲の緑も手付かずだったため、絶滅危惧種の植物や珍

しい昆虫など豊かな自然も残っている。

今回は見学料の一部を東日本大震災被災地への義援金とする。公開は整備済みの愛知県側四基分、一・七キで毎日午前十時～午後三時(入場は午後二時ま〇)4664

で)。無料トンネル音楽会や茶会などもあ



昨秋の一般公開でトンネルや自然を楽しむ観光客ら＝愛知県春日井市の愛岐トンネル群で